

平和学習の旅 中国 2017

万人坑を知る旅⑧

～ 遼寧省の万人坑Ⅱ～

報告学習会



2017.9
不忘悲痛之事實
反省・追悼・和平
日本万人坑を知る
平和学習の旅

■参加資料代：800円 ■主催：HAPPY-SCREAMING PROJECT LLC

■問い合わせ先：happy.screaming.project@gmail.com ☎ & 📠：06-6324-2439

2018年3月21日（祝水） 13：30～16：30（開場 13：15）

大阪市立総合生涯学習センター 第2研修室（60名収容）

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階 ☎ 06-6345-5000

【地下鉄】御堂筋線＝梅田 四つ橋線＝西梅田 谷町線＝東梅田

【JR】大阪駅 東西線＝北新地駅 【私鉄】阪神電車＝梅田 阪急電車＝梅田

■報告：平和学習の旅 中国 2017「万人坑を知る旅⑧ ～遼寧省の万人坑Ⅱ～」

「万人坑を知る旅」の初回からの振り返りと総括

野津 加代子（平和学習の旅「万人坑を知る旅」主催）

■解説：「中国人強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）」

青木 茂（平和を考え行動する会）

著書：『華北の万人坑と中国人強制連行 日本の侵略加害の現場を訪ねる』（花伝社）

『日本の中国侵略の現場を歩く 撫順・南京・ソ満国境の旅』（花伝社）

『万人坑を訪ねる 満州国の万人坑と中国人強制連行』（緑風出版）

『偽満州国に日本侵略の跡を訪ねる』（日本僑報社）

『日本軍兵士・近藤一 忘れえぬ戦争を生きる』（風媒社）

主にアジア太平洋戦争期の日本の中国侵略下で犠牲になった中国人の遺体が埋められた「人捨て場」を万人坑（まんにんこう）と言います。万人坑に埋められた犠牲者の多くは、炭鉱などの鉱山や軍事基地構築などの土工工事現場で強制労働させられ過労死（衰弱死）した中国人です。また、日本軍に虐殺された中国人を埋めた「人捨て場」も万人坑と呼んでいます。

そして、中国近現代史の著名な研究者である李秉剛教授の著書『万人坑を知る』に紹介されている万人坑を現地で確認・学習するため2009年から私たちが始めたのが「万人坑を知る旅」です。

「万人坑を知る旅」訪中団は毎年1回中国に行き、李秉剛教授に同行・解説してもらいながら、北方のロシアとの国境から南方の海南島にまでいたる中国各地を訪ね、たくさんの万人坑を確認してきました。そして、遼寧省を再訪する昨年（2017年）の「万人坑を知る旅」までで、李教授の著書『万人坑を知る』に紹介されている万人坑の確認をほぼ終え、李教授に同行してもらった「万人坑を知る旅」に区切りをつけることにしました。

「万人坑を知る旅」を通して分かったことの一つは、膨大な犠牲者を生み出した中国人強制連行・強制労働が、「人捨て場」である万人坑を形成する主要な原因になっていることです。

その、万人坑形成の主因である中国人強制連行・強制労働の被害者数は、「満州国」（中国東北地方）で1640万人、華北（「満州国」の南に位置する黄河流域）で2000万人にもなりますが、このことは日本ではほとんど知られていません。日本国内（内地）に強制連行されてきた約4万人の中国人被害者のことは日本でもある程度は知られていますが、それよりも桁違い（3桁違い!）に被害規模が大きい中国本土（大陸）における強制連行・強制労働につ

いて日本でほとんど知られていないのは残念なことです。

今回の学習報告会では、昨年（2017年）の遼寧省訪問の報告に加え、「万人坑を知る旅」の初回からの振り返りと総括もお伝えします。私たちの報告を聞いていただき、日本の中国侵略の実態について理解を一層深めていただけることを願っています。「万人坑を知る旅」の区切りの報告会にぜひ御参集ください。



*** 万忠墓**

1894年、日清戦争の旅順大虐殺で造られた
中国最初の万人坑